

令和4年度

事業報告書

令和4年度 法人運営事業報告書
令和4年度 施設課事業報告書
令和4年度 在宅課事業報告書

社会福祉法人やまゆり

法人基本理念に基づき、地域の皆様や利用者様、家族様との結びつきを重視して住み慣れたそれぞれの地域で、だれもが安心して住むことができ、住んで良かったと感じていただけるよう全事業を行ってきた。

主な実施事業

1. 各事業所の円滑かつ安定的な運営

事業の円滑かつ安定的な運営のために、「やまゆり改善計画」を軸とし、組織改革や業務改善等を実行し様々な課題の解決を行った。また9月には「やまゆり中長期経営計画」を作成し、法人の安定した運営の指針とした。

利用者、職員の状況を踏まえ、4月から「通所こもれびの家」を休止し、地域内の通所事業所を2つにし、事業の効率化を図った。

各事業所で目標を意識し、日々の稼働率のアップや固定費の削減等に取り組んできた。経営戦略会議等を行い、情報共有、経営課題の分析や現状の見直し等、PDCA サイクルを回しながら課題の解決に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症のクラスター発生や職員の退職、年途中からの光熱水費、物価の高騰等、突発的な事象による計画の変更を余儀なくされた。

八幡原事業所については、公益事業として、「NPO 法人スサノオの風」に賃貸借を行った。

また、第8期出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の介護サービス施設等整備事業に基づき、グループホームせせらぎの家の1ユニット（9床）の増床工事に着手した。

2. 安心・安全対策

新型コロナウイルス感染症の対策として、感染の状況により感染対策委員会を開催し、細かな内容を協議し実施した。

事業所内で発生した際には、マニュアルに従って万全な体制で対応した。職員間で、感染予防対策として「やまゆり KYC 活動」を徹底して行った。

3. 人材育成・人材確保活動

(1) SNS (Facebook、Instagram) から法人の事業の様子や職員の活動、風景などを情報発信することで「やまゆり」のPRを行った。

(2) 衛生委員会を毎月開催。健康診断やストレスチェックを実施し職員の健康づくりを図り、働きやすい職場づくりに取り組んだ。

(3) 処遇改善加算、特定処遇改善加算、処遇改善支援補助金、ベースアップ支援加算を活用し、職員処遇の改善を行い、雇用の安定に努めた。

(4) 新規学卒採用者の確保については、施設課を主体に、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校の外部講師の受託等を通して、当法人のPR

活動を行い、新規採用者を確保した。

- (5) 新卒者及び前年度採用した職員を対象に、新規採用職員研修を実施し、法人職員としての心構えや介護等の知識を理解することで、職員資質の向上に努めた。また、感染状況を踏まえ、オンラインを活用しながら、できる限り可能な外部研修に参加するとともに、法人内の研修については、密集をさけるなどの感染対策を施しながら行い、よりよいケアを提供するためのスキルアップに努めた。

4. 施設、設備整備等

- (1) 介護、障がいの全事業所へ「介護支援ソフトほのぼの」を導入した。特養、短期、通所事業所（かがやきの家、通所やまゆり、稗原デイサービスセンターやまゆり）、グループホームせせらぎの家は、タブレットを導入し、記録の ICT 化を行った。
- (2) 島根県の補助金を活用し、特別養護老人ホームやまゆり苑とせせらぎの家に面会ブースを1台ずつ設置した。
- (3) 島根県の補助金を活用し、特別養護老人ホームやまゆり苑に、インカム及び見守りシステム眠りスキャンを導入し、業務の効率化を図った。

5. 地域とのつながり（地域貢献活動）

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、ふれあいだんだん祭り、介護実践発表会等地域、学校等との交流活動は中止した。

また、音楽サークル（Tree Rings）は活動の場を広げ、各事業所での演奏会や地域（ごっこい祭りや稗原ミニデイサービス等）へ出かけ演奏をすることで、地域の皆様とのつながりが広がり、法人の PR 活動を行い、職員にとっても楽しみや特技を発揮できる場所となり、職員定着に結び付いた。

令和4年度 事業報告 法人運営

1. 会議の開催

各種会議を開催し、法人の円滑な運営を図った。

- | | |
|----------------|---------------------------|
| (1) 理事会の開催 | (4回：5/26、9/29、12/14、3/17) |
| | (5回：書面) |
| (2) 理事協議会の開催 | (1回：9/29) |
| (3) 評議員会の開催 | (1回：6/23) |
| (4) 監査会の開催 | (2回：5/19、12/15) |
| (5) 内部経理監査会の開催 | (1回：3/14) |
| (6) 管理会 | (12回：毎月) |
| (7) 衛生委員会 | (12回：毎月) |

2. 研修会の開催及び参加

各関係機関主催の研修等に新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて参加し、資質の向上を図った。

- (1) 各種研修会参加
 - ・社会福祉法人役員研修 (Zoom 2/22)
- (2) 役職員人権研修会の開催 (書面による研修)

3. 職員人事

- (1) 採用 13名 (内訳 正規2名、臨時1名、パート10名)
- (2) 退職 17名 (内訳 正規8名、臨時1名、パート8名)

4. 広報発行 4回 (6月、9月、1月、3月)

地域住民の方等へ当法人の事業内容や情報を提供するため、広報誌を作成し佐田町内、稗原地区の各世帯(約1,700世帯)や関係機関等へ配布した。

5. 理事会議案

議案第 1号	令和3年度資金収支補正予算(第7回)について	第101回	書面
議案第 1号	令和3年度事業報告及び資金収支決算について	第102回	令和4年5月26日
議案第 2号	経理規程の一部改正について	//	//
議案第 3号	定時評議員会の招集について	//	//
議案第 4号	やまゆり訪問介護事業所(居宅介護及び重度訪問介護)運営規程の改正について	//	//
議案第 1号	就業規則の一部改正について	第103回	書面
議案第 2号	嘱託職員就業規則の一部改正について	//	//
議案第 3号	準職員就業規則の一部改正について	//	//
議案第 4号	臨時職員就業規則の一部改正について	//	//
議案第 5号	パート職員就業規則の一部改正について	//	//

議案第 1号	認知症高齢者グループホームせせらぎの家増築工事入札について	第104回	令和4年9月29日
議案第 2号	中長期経営計画について	〃	〃
議案第 3号	定款細則の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	組織管理規則の一部改正について	〃	〃
議案第 5号	事務処理規程の一部改正について	〃	〃
議案第 6号	令和4年度資金収支補正予算(第1回)について	〃	〃
議案第 1号	認知症高齢者グループホームせせらぎの家増築工事入札について	第105回	書面
議案第 2号	給与等に関する規程の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	臨時職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	パート職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 5号	職員の育児・介護休業等に関する規則の改正について	〃	〃
議案第 6号	セクシャルハラスメント苦情処理規程について	〃	〃
議案第 1号	認知症高齢者グループホームせせらぎの家増築工事入札について	第106回	書面
議案第 1号	認知症高齢者グループホームせせらぎの家増築工事請負契約の締結について	第107回	令和4年12月14日
議案第 2号	組織管理規則の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	定款細則の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	業務規程の一部改正について	〃	〃
議案第 5号	事務処理規程の一部改正について	〃	〃
議案第 6号	経理規程の一部改正について	〃	〃
議案第 7号	給与に関する規程の一部改正について	〃	〃
議案第 8号	個人情報保護規程の一部改正について	〃	〃
議案第 9号	苦情解決に関する規程の一部改正について	〃	〃
議案第 10号	法令遵守管理規則の一部改正について	〃	〃
議案第 11号	ハラスメント苦情処理規程の一部改正について	〃	〃
議案第 12号	安全衛生規程の一部改正について	〃	〃
議案第 13号	奨学金貸与規程の一部改正について	〃	〃
議案第 14号	理事会運営規程の一部改正について	〃	〃
議案第 15号	評議員会運営規程の一部改正について	〃	〃
議案第 1号	就業規則の一部改正について	第108回	書面
議案第 2号	令和4年度資金収支補正予算(第2回)について	〃	〃

議案第 1号	給与等に関する規程の一部改正について	第109回	令和5年3月17日
議案第 2号	準職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	臨時職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	パート職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 5号	嘱託職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 6号	個人情報取扱規程の廃止について	〃	〃
議案第 7号	個人情報保護規程の改正について	〃	〃
議案第 8号	役員等賠償責任保険契約について	〃	〃
議案第 9号	積立預金の運用目的変更について	〃	〃
議案第 10号	修繕費積立預金の取り崩しについて	〃	〃
議案第 11号	令和4年度資金収支補正予算(第3回)について	〃	〃
議案第 12号	通所やまゆり(地域密着型通所介護 介護予防・日常生活支援総合事業 通所介護従前相当サービス)運営規程の一部改正について	〃	〃
議案第 13号	令和4年度事業計画及び資金収支予算について	〃	〃
議案第 14号	出雲市生活支援ハウス管理協定締結について	〃	〃
議案第 15号	職員の育児・介護休業等に関する規則の改正について	〃	〃
議案第 16号	臨時評議員会の招集について	〃	〃

6. 評議員会議案

議案第 1号	令和3年度計算書類及び財産目録の承認について	第56回	令和4年6月23日
--------	------------------------	------	-----------

7. 公益事業

不動産の賃貸

八幡原事業所(建物、土地)の貸出

貸出先 NPO 法人スサノオの風

令和4年度 事業報告
特別養護老人ホームやまゆり苑、やまゆり短期入所事業所

令和4年度目標

○心でつながるぬくもりと安心を共に

・ 1日あたりの受け入れ目標 特養 48.5名
 短期 9.4名

【利用実績】

1. 利用者数

特養 年間総計 16,720 名 (入院含)、一日平均入所者数 45.81 名

月	4	5	6	7	8	9
人数 (名)	1,488	1,545	1,479	1,530	1,512	1,358

10	11	12	1	2	3
1,376	1,320	1,342	1,283	1,161	1,326

短期入所 (予防利用含む) 年間総計 2,349 名、一日平均利用者数 6.44 名

月	4	5	6	7	8	9
人数 (名)	165	211	216	226	163	158

10	11	12	1	2	3
212	217	198	127	205	251

2. 特養介護度の状況 (令和5年3月末日現在)

平均介護度 3.91

介護度	1	2	3	4	5	計
男性	0	0	5	1	4	10
女性	0	0	11	14	8	33
計	0	0	16	15	12	43

3. 特養 平均年齢 (令和5年3月末日現在)

男性 87.4 歳	女性 91.1 歳	全体平均 90.3 歳
-----------	-----------	-------------

4. 特養 死亡者の状況

性別	看取りの場所 (病院)	看取りの場所 (自宅)	看取りの場所 (苑)	合計
男性	1	0	2	3
女性	2	0	17	19
合計	3	0	19	22

5. 入院の状況

実人数	年間入院者延人数	年間入院者実日数 (入・退院日を含む日数)
17 名	21 名	449 日

6. 受診の状況（往診含む延人数）

歯科	精神科	皮膚科	その他(救急等)	合計
50名	31名	19名	193名	293名

7. 外出・外泊の状況

延べ外出者数	2名	延べ外泊者日数	0日
--------	----	---------	----

8. 季節行事等の状況

月	内 容	
5月	土砂災害避難訓練	避難場所への移動はなし
6月	バトミントン大会	法人職員で実施
9月	敬老会	施設課職員のみで実施
10月	日日是好日	施設課職員のみで実施
11月	施設課秋祭り	施設課職員のみで実施
12月	クリスマス会	施設課職員のみで実施
1月	とんど祭り	一部内容を変更し実施
2月	節分	施設課職員のみで実施
3月	物故者供養祭	施設課職員のみで実施
(その他 各ユニットでの誕生会他季節の行事)		

9. 地域交流（ボランティア含む）の状況

→新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

10. 職員研修状況 →別紙のとおり

11. 他機関、他施設よりの研修・視察の状況

→新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

12. 広報活動

法人広報を発行(出雲市内の施設関係者及びご家族、佐田地区住民へ配布)
楽団 Tree Rings—ごっこい祭り、稗原ミニデイサービス、法人内各事業所にて音楽演奏によるPR活動

13. 介護相談員の受け入れ

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

14. 苦情について

受付窓口や第三者委員への苦情はなかった。

1.5. やまゆり苑家族会の活動について

月	内 容	
4月	家族会総会・清掃活動	中止
6月	介護実践発表会参加（共催）	中止
9月	敬老会（共催）	参加なし
10月	ふれあいだんだん祭り（共催）	中止
11月	家族会清掃活動	中止

【考察】

1. 経営の安定

- (1) 令和4年度は、1日あたり特養48.5名以上、短期9.4名以上を目標としたが、実績は1日あたり特養45.81名、短期6.44名であった。目標達成にいたらなかった主な要因は、新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生と死亡退所者数の増加が上げられる。クラスター発生時の入所については、現場の対応と、新規入所者の安全を考慮すると致し方ないが、退所者の後の新規入所については、待機者数が入所者数（以降稼働率と表す）と比例するデータもあり、待機者数を増やす取り組みが必要である。その取り組みについて事業計画に盛り込む。
- (2) 受診・往診の延べ人数については令和3年度の2倍になっているが、これは歯科受診・往診など、専門医との連携によりきめ細やかなケアが提供出来ていることが一つの要因となっている。他では、泌尿器科の受診・往診を必要とする入所者が増える傾向にある。一方で、整形外科受診などが少なくなり、転倒骨折等の事例が減っていることがわかる。

2. 質の高いサービスの提供

コロナ禍により例年の行事活動等が中止・変更となったが、反面、施設課内で独自の行事や取り組みが増えており、利用者様・職員の楽しみの場を兼ねた行事・取り組みが継続出来ている。また、認知症ケアユマニチュード、楽器を使った音楽療法なども継続しており、他施設との差別化、質の高いサービス提供につなげているといえる。

3. その他

- (1) コロナ禍でも感染予防対策を行い、実習生の受け入れを継続した。現在、トリニティカレッジの教務員の情報では、実習施設を就職先に選ぶ学生が多いという。このことから、施設実習や施設見学を受け入れるメリットは大きい。今後も受け入れを継続していくことで、新卒者の獲得につなげる。
- (2) SNS等を利用した広報活動により、法人の取り組みを外部へ発信することは、顧客獲得と人材確保に繋がる。職員全員で取り組むことで、顧客の獲得・職員確保の確率を上げることが出来るため、取り組みを強化する。
- (3) 職員研修や会議などは、感染対策の為に一部をプリント方式や動画視聴に切替えて行い、また、オンラインを活用することで参加率も上げることが出来た。特に子育て世代の職員も多い施設課にとっては、家庭の事情があっても参加し易い環境を整えることが出来たといえる。

令和4年度 事業報告
グループホームせせらぎの家

令和4年度目標

○おちらと、ほがらかに、いつまでも自分らしい生活を大切にします

・1日平均利用者数 9名

【利用実績】

1. 利用者数 1日平均利用者数8.84名（稼働率98.2%）平均介護度 要介護2.

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	270	271	259	248	279	270	279	270	279	279	252	274	3,230

2. 入院の状況

実人数	年間入院者延人数	年間入院者実日数 (入・退院日を含む日数)
1名	5名	5日

【行事報告】

月	内 容
4月	物故者法要
9月	避難訓練（6日）、須佐神社参り（8日）、TreeRings演奏会（9日） 納涼祭（15日）、TreeRings演奏会（20日）
10月	日日是好日（26日）
11月	施設課秋祭り（8日）
12月	クリスマス会（20日）、避難訓練（20日）、クリスマス会（25日） お餅つき（28日）
2月	蕎麦打ち（27日）
3月	避難訓練（17日）、豆腐作り（26日）

ボランティア活動 環境整備（4/24, 6/4, 7/10, 7/16, 9/29）

【考察】

1. 経営の安定

グループホームせせらぎの家が施設課となったことで、特養・短期との情報交換がし易くなった。各事業所でのアセスメントを共有し、短期利用者のグループホームへの受け入れ、グループホームから特養への受け入れを利用者様の状態に応じてタイムリーに実施する事で、一人の利用者様への法人一貫でのサービス提供の継続と共に、

今後早い受け入れによる稼働率の安定を図っていく。

2. 質の高いサービスの提供

- (1) コロナ禍の影響もあったが、感染対策の上で前年度より面会や外出支援の機会も増え、また施設課と共同での行事等にも取り組めたことで、利用者様の満足や意向に沿った支援にも繋がった。
- (2) 課内研修等を特養・短期事業所と共同で行い、互いのケアに対する想いに触れながら新しい知識・技術の習得を行った。また、必要に応じて看護・介護職員が事業所を行き来しフォローし合う事で柔軟な対応が出来た。

3. 安全対策、環境整備

- (1) やまゆり KYC の実施により、日々感染対策への意識の継続を図る事が出来た。
- (2) 年2回の消防訓練を利用者様と実施し、利用者様、職員共に防災への意識付けが出来た。

令和4年度 施設課 職員研修実施表(施設内研修)

研修内容	月日	参加人数
介護福祉サービスに関する研修 「介護現場における接遇について」	5月16日(月)～ 5月30日(月)	27
認知症ケアⅠ「ユマニチュード技法」	6月5日(日)～ 6月12日(日)	18
感染・食中毒研修「感染予防・ゾーニング」	6月23日(木)～ 7月27日(土)	25
介護事故防止「誤薬防止」	7月中	38 レポート形式
防災訓練(火災)	7月29日(金)	14
女性のバルン固定研修	10月1日(土)～ 11月30日(水)	20
入浴・排泄ケア研修「保湿の必要性、ESBLの対応」	10月中	42 レポート形式
認知症ケアⅡ「認知症の分類」	11月14日(月)～ 11月24日(木)	29
コロナ感染対策マニュアル	1月中	42 動画視聴 レポート形式
事故発生防止研修「1人介助による服薬」	1月25日(水)～ 1月31日(火)	48 動画視聴 レポート形式
虐待への理解と課題収集	1月中	48 レポート形式
看取りケア研修「死生観を学ぶ」	3月25日(土)～ 3月31日(金)	33
防災訓練(火災)	3月28日(火)	4

令和4年度 地域交流等実施状況

非定期交流			
活動名・内容	個人・団体名	人数	実施日
天理教ボランティア	天理教		中止
佐田中学校吹奏楽演奏会	佐田中学校		
介護実践発表会	当法人主催 やまゆり苑家族会共催		
ふれあいだんだん祭り	当法人主催		
窪田小学校和太鼓演奏	窪田小学校 和太鼓クラブ		

定期交流			
活動名・内容	個人・団体名	人数	実施日
習字クラブ（習字）	中止		毎月2回（第1・3水曜日）
ほっこりクラブ（パッチワークなど）	中止		毎月2回
喫茶（お菓子、お茶）	中止		毎月1回（第3火曜日）
お菓子販売	地元業者		総務課職員対応にて各毎月1回
美容奉仕（散髪）	中止		毎月1回
理容奉仕（散髪）	中止		毎月1回
清歌会（ハーモニカ演奏）	中止		毎月1回
生け花	中止		毎月1回
ソーイングボランティア	中止		毎月1回

研修・実習受け入れ		人数	
出雲西高等学校3年生 施設実習		2	令和3年10月18日～10月21日
島根県立大学看護学科3年生 老年看護学実習			中止(代替教材の撮影に協力)
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 施設実習Ⅱ施設		2	令和4年7月13日～8月1日
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 施設実習Ⅱ施設		2	令和4年11月22日～12月21日
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 施設実習Ⅰ施設		1	中止(令和5年2月7日～2月8日のみ)

その他（講師・求人活動等）		
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 講師派遣 （コミュニケーション技術）	3	令和4年4月19日～令和4年11月29日

※中止になった地域交流及び実習等の殆どは新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため
トリニティ施設実習の中止については学校側の都合のため

令和4年度 事業報告 通所かがやきの家

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業 (総合事業))

令和4年度目標

○「心のやすらぎ、ふれあいの広場、生きがいくくり」を大切に
思いをつなぐ かがやきの家

・1日平均利用者数 17.6名

【利用実績】 (定員18名、週6日営業、年間310日営業)

1. 利用者数 1日平均利用者数15.2名 (稼働率84.2%) 平均介護度 1.3

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	303	317	289	323	319	328	360	360	340	290	320	339	3,888
総合	99	97	73	70	69	67	66	64	53	43	46	65	812
合計	402	414	362	393	388	395	426	424	393	333	366	404	4,700

【行事報告】

4月	お花見(音楽療法)	5月	春のミニミニ運動会	6月	防災訓練
7月	七夕会(紙芝居)	8月	納涼祭・環境整備	9月	敬老会
10月	秋のミニミニ運動会	11月	土砂災害訓練	12月	クリスマス会(ケーキ作り)
1月	新年会(新年の抱負)(七草がゆ)	2月	節分祭(鬼の飾り作り、職員出し物)	3月	季節のお菓子作り(ぼたもち)

【考察】

1. 経営の安定

令和4年度より「通所こもれびの家」と統合し介護予防に特化した事業所から要介護5までの利用者様を受け入れる体制へ変更した。居宅介護支援事業所や出雲市高齢者あんしん支援センターと密に連携をとり、稼働率は年間の月平均が84.2%を達成する事が出来た。10月と11月は90%を超える稼働率であった。

2. 質の高いサービス提供

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり外部研修への参加は少なかった。そのため事業所の職員一人一人が利用者様のために個人ファイルを作成し目的のあるレクリエーションを提供する事が出来た。
- (2) 毎朝のミーティングで情報共有をし、統一したケアの提供が出来た。

- (3) 利用者様の好きな事や興味のある事を知り趣味活動にて取り組んで頂いた。完成した作品を事業所内へ展示し達成感を味わって頂けるように努めた。
- (4) 個人の年間目標を明確にし、得意な分野で力を発揮できるようにした。

3. 安全対策・環境整備

- (1) 高稼働率の中、職員間の情報共有を徹底する事で、ヒヤリハットは発生したが、大きな事故はなかった。
- (2) 感染症予防対策は、やまゆり KYC 活動を毎朝実施し利用者様、職員の健康に繋げることが出来た。
- (3) 6月と12月に防災訓練を実施し、日頃からの防災意識を向上する事が出来た。

令和4年度 事業報告 通所やまゆり

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業(総合事業))

令和4年度目標

○安心、安全、自分の居場所であるために

・1日平均利用者数 17.6名

【利用実績】 (定員18名、週6日営業、年間310日営業)

1. 利用者数 1日平均利用者数13.7名(稼働率76.0%) 平均介護度 1.2

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	273	289	271	258	243	248	274	303	263	224	227	273	3,146
総合	96	101	94	92	89	91	91	92	94	74	81	105	1,100
合計	369	390	365	350	332	339	365	395	357	298	308	378	4,246

【行事報告】

4月	お花見	5月		6月	防災訓練
7月	七夕会(紙芝居)	8月	納涼祭	9月	敬老会
10月		11月	土砂災害訓練	12月	クリスマス会
1月	新年会(七草がゆ)	2月	節分祭	3月	季節のお菓子作り

【考察】

1. 経営の安定

居宅介護支援事業所等との連携を取りながら、新規利用者様の確保や稼働率アップに努め、令和3年度月平均13.3名から令和4年度1月平均13.7名であった。総合事業利用者様の割合が増えたため、年間目標金額は令和3年度と変わりなかった。

2. 質の高いサービスの提供

- (1) 専門的知識や技術の向上について、課内研修やOJTを中心とした職員教育を実施した。
- (2) 利用者様個々のニーズに対応するために、統一したケアに努めたが、情報共有等が不十分であった。

3. 安全対策・環境整備

- (1) やまゆりKYCを毎朝のミーティングで行い感染予防について、職員間できちんと

意識づけをし、実施できた。

- (2) 送迎方法や介助方法が職員間で統一出来てない事があり、安全面への配慮について課題が残った。今後は、連絡ノートやミーティングを利用し、情報共有がしっかりと出来るよう情報伝達の仕方を検討する必要がある。

令和4年度 事業報告
稗原デイサービスセンターやまゆり

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業(総合事業))

令和4年度目標

○美味しい食事と個々が輝くデイサービス

- ・ 1日平均利用者数 8名

【利用実績】 (定員 10名、週 5日営業、年間 259日営業)

1. 利用者数 1日平均利用者数 5.9名 (稼働率 59.5%) 平均介護度 1.9

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	71	70	84	94	116	111	147	130	126	134	131	145	1,359
総合	27	30	20	17	10	5	12	10	9	7	8	26	181
合計	98	100	104	111	126	116	159	140	135	141	139	171	1,540

【行事報告】

4月	お花見(音楽療法)	5月	外出	6月	防災訓練
7月	七夕会	8月	納涼祭	9月	敬老会
10月	外出	11月	防災訓練	12月	クリスマス会
1月	新年会	2月	節分祭	3月	季節のお菓子作り

【考察】

1. 経営の安定

令和3年度の平均稼働率は37.3%。令和4年度は59.5%であった。利用者様の確保のため、月初に各居宅介護支援事業所へ出向き実績を手渡し、情報交換や空き情報などでコミュニケーションを図り関係の構築を図った。重度の認知症の方や医療行為が必要な方の新規依頼が多かったが、看護職員の配置など職員体制を可能な限り整え、ほぼ受け入れをする事が出来た。医療依存度の高い方が増えた事で入院等による登録抹消もあり目標としていた80%の稼働には達しなかった。ただ、10月～3月までの下半期は70%の稼働率に上げることが出来、積極的に受け入れをする事が新規の利用者様の獲得には大切なプロセスであると実感した。

2. 個別ケアの実施

利用者様個々のニーズを把握する事でその方にあった介助方法等を職員間で共有できた。訪問リハビリを利用されている利用者様には、利用時に個別に訓練をするなどしていたが、平均介護度が高くなる事と人員不足もあり一律の体操プログラムになった。

3. 質の高いサービス提供

- (1) 新型コロナウイルス感染症に伴い外部研修への参加に制限があった。その中で課内研修には、事業所全体で積極的に参加をし、実際に事業所を利用されている利用者様を想像しながら、必要な支援のイメージを研修でより具体的に考える事が出来た。
- (2) 十分な職員体制ではない中で、職員同士出来ることを確認しながら、同じ方向にむかって進むことが出来た。1名の職員が介護職員初任者研修へ参加が出来、介護サービスを提供する上で何が必要か改めて学ぶことが出来た。育成プログラムのない中で研修への参加は新人職員にとって大きな自信につながり事業所の質の向上につながった。

令和4年度 事業報告
やまゆり居宅介護支援事業所

令和4年度目標

○「住み慣れた地域で暮らしたいを支えます」

～つながる、ひろがる、認め合う～

- ・ 1ヶ月のケアプラン作成等件数の目標
介護給付130名、予防給付70名、合計200名
- ・ 1ヶ月の訪問調査件数の目標10名

【利用実績】

1. 居宅介護支援 月平均127.4名 平均介護度 1.7名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	131	132	136	134	127	122	135	129	121	133	120	109	1,529

2. 介護予防支援業務（出雲高齢者あんしん支援センター受託分）月平均受託者数55.8名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	41	43	43	38	37	39	38	38	35	36	34	35	457
総合	17	18	17	17	18	17	17	19	18	19	18	17	212
合計	58	61	60	55	55	56	55	57	53	55	52	52	669

3. 要介護認定調査 月平均受託者数 9.6名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	8	8	10	12	9	16	13	6	10	9	9	5	115

【考察】

1. 経営の安定

ケアプラン作成件数は介護給付127.4名/月 予防給付55.8名/月であった。介護は特養、老健をはじめとした施設への入所や入院といったことが重なり、130名/月の目標には少し届かなかった。認定調査の委託件数は9.6名/月と、1月の目標件数10件に対しほぼ達成する事が出来た。

全体的に件数の減少があるが、認定調査や管理者を兼務している職員もいる事など人員配置によって適宜の目標修正は必要になる。令和4年度も各種の算定要件を満たすことが出来、特定事業所加算Ⅱを取得する事が出来た。

2. ケアマネジメント力の向上

介護保険法に則り、公平な立場で業務を遂行できた。ケアマネジャーの資質向上のために毎週のミーティングや施設内外で開催された研修へも積極的に参加ができた。新型コロナウイルス感染症対策のため WEB 開催の研修へ参加する機会も多くなり、ZOOM の利用方法についてミーティングで取り上げた。事業所から参加出る事もあり参加しやすかった。地域ケア個別会議や民生児童委員定例会への参加なども地域との連携や新たな情報収集へと繋がった。

令和4年度 事業報告
やまゆり訪問介護事業所 訪問介護・訪問型サービス（第1号訪問事業）
障がい福祉サービス

令和4年度目標

○一人ひとりの思いに寄り添い、笑顔あふれる訪問介護やまゆり

- ・1ヶ月の訪問回数目標 介護給付290回、総合事業40回
 障がい福祉サービス70回 合計400回以上

【利用実績】

1. 介護・総合訪問回数 1日平均訪問回数11.3回 平均介護度 1.6

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	286	280	304	299	288	272	298	270	258	246	222	213	3,236
総合	70	80	78	73	79	77	77	94	71	69	71	83	922
合計	356	360	382	372	367	349	375	364	329	315	293	296	4,158

2. 障がい福祉訪問回数 1日平均訪問回数2.7回

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延訪問回数	76	79	81	84	81	82	76	81	85	86	94	83	988

【考察】

1. 経営の安定

介護事業について1月の目標訪問回数290回に対し平均270回であった。新規依頼は調整をして全て受け入れ回数を伸ばせていたが、1月～3月に施設入所や入院される方が多かった事や週に4～5回利用の方が利用中止になった事が、大きな要因となり訪問回数の減少となった。今年度は看取り介護での利用も多かった。

総合事業は、1月の目標回数40回に対し平均77回であった。今後もアセスメントやモニタリングを実施しながら、介護給付に繋げて行き、サービスの継続を目指す。

障がい福祉サービスは1月の目標訪問回数70回に対し82.3回であった。訪問エリアの拡大を意識し積極的な受け入れを行った。

2. 質の高いサービス提供

- (1) 月1回の事業所内ミーティングを実施し情報共有や振り返りを行い、利用者様の状態に合わせたケア、質の高いサービスの提供の実施が出来た。
- (2) 利用者様や家族様と信頼関係を築くよう連絡や報告をスムーズに行い、安心して頂ける事業所作りをした。
- (3) 外部研修への参加は、新型コロナウイルス感染症のために出来なかった。法人内

の研修は特定の職員しか参加できなかったが、資料配布や伝達を行い情報共有した。

3. 安全対策・環境整備

- (1) ヒヤリハットの分析、防止対策を行い情報共有した。ニーズに合わせたリスクマネジメント等の情報共有の時間はあまり持てなかった。
- (2) 事業所内でやまゆり KYC を徹底し、各自の感染対策への意識づけが出来た事で、感染症の蔓延防止が出来た。

令和4年度 事業報告
障がい者相談支援事業所 ほっと

令和4年度目標

- 「あなたらしい」生活を。いつでも共に。
- ・目標利用者数 6名以上

【利用実績】

1. 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	91

【考察】

1. 適切なサービス利用計画の作成

利用人数の目標は達成できた。

サービス利用計画の作成については、利用者様、家族様の思いを受け止め、同意を得ながら作成できている。

2. 関係機関との連携

行政や病院、サービス提供事業所と連携をとりながら行った。利用者様のニーズに合わせた社会資源の掘り起しまでは出来なかった。今後もその視点を忘れないようにする。

3. 職員の専門性の向上

相談支援専門員現任研修に参加し、様々な学びがあった。

令和4年度 事業報告 生活支援ハウス（居住）

令和4年度目標

○健康で生きがいを持ち、顔なじみの方が住む地域で、自分らしく
いきいきとした生活ができる

・ 1日の入居者数 9名以上

【実績】

1. 入居者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延入居者数	270	279	270	279	279	270	279	270	278	252	217	217	3,160

【行事報告】

4月	お花見・外出	8月	お盆行事 (お墓参りなど)	9月	敬老会・お彼岸(おはぎ作り)
12月	クリスマス会	1月	和菓子会	3月	お彼岸 (ぼたもち作り)

【考察】

1. 経営の安定

1日あたり入居者数9名を目標にしていたが、新型コロナウイルス感染症の発生や退去者もあり8.6名の稼働率であった。新規の申し込み予定者もなく空床が続く形となった。

2. 楽しみのある生活

誕生会やクリスマス会など季節の行事を年間に沿って実施する事が出来たが、外出や買い物などは新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった。そのため、屋内で出来る趣味活動を入居者様と考え、ジグソーパズルを購入し作成をした。完成した作品を地域の祭りに展示をする事ができた。

3. 質の高いサービス提供

毎月の課内研修は集合研修への参加は出来なかったが、レポート形式の研修へは参加が出来た。事業所内での情報共有は連絡ノート等を使用し日勤も夜勤も対応方法の統一が出来た。

4. 安全対策・環境整備

新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したが、発生後の対応は出雲保健所の指示の下で適切に行い感染拡大を防ぐことが出来た。

令和4年度 在宅課 研修実施表（施設外研修）

事業所名	研修名	実施日	人数	場所
居宅	在宅療養懇話会	4月12日 6月14日 8月9日 10月11日 12月13日 2月14日	1	出雲医師会館
	令和4年度出雲地域介護支援専門員協会総会	6月3日	1	ビッグハート出雲
	気付きの事例検討会	6月15日 10月19日 12月21日 2月5日	1	さんぴーの出雲
	主任介護支援専門員更新研修	前期)6月21日～23日 中期)7月26日～27日 後期)8月 6日～8日	1	くにびきメッセ
	避難行動要支援者避難プラン作成の手引き	8月23日	1	ZOOM
	居宅介護支援事業者 研修会	9月8日	1	出雲科学館
	出雲市地域ケア個別会議	11月15日	1	湖陵コミュニティセンター
	出雲地域介護支援専門員研修会「意思決定支援」	11月24日	3	ZOOM
	3居宅(湖陵・多伎・佐田)事例検討会	1月24日	6	ZOOM
介護支援専門員研修「災害・防災安全について」	2月24日	1	ZOOM	

事業所名	研修名	実施日	人数	場所
訪問	出雲市地域ケア個別会議	11月15日	1	湖陵コミュニティセンター

事業所名	研修名	実施日	人数	場所
ほっと	相談支援専門員現任研修	前期)10月31日～ 11月1日 中期)11月24日 後期)12月20日	2	朱鷺会館

令和4年度 在宅課 職員研修実施表（施設内研修）

毎月第3水曜日 18:00～

研修内容	月日	参加人数
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	4月20日(水)	19
倫理及び法令順守	5月18日(水)	レポート形式
プライバシー保護	6月15日(水)	11
認知症ケア	7月27日(水)	16
非常災害時の対応	8月17日(水)	レポート形式
接遇	9月21日(水)	13
リスクマネジメントと介護事故防止	10月19日(水)	15
緊急時の対応・救急法	11月16日(水)	11
高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止と身体拘束	12月21日(水)	レポート形式
障害の特性と配慮や支援のポイント	1月18日(水)	レポート形式
介護予防及び要介護度進行予防	2月15日(水)	13
事業活動報告	3月15日(水)	4月に日程変更

令和4年度 行事、地域交流実施状況

通所かがやきの家

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	通所合同敬老会		中止	
	環境整備		中止	
	交流会		中止	

通所やまゆり

	活動内容	個人・団体名	実施日	人数
	習字	ボランティア	中止	
	喫茶（ほのぼの喫茶）	ボランティア	中止	
	通所合同敬老会		中止	
	職場体験学習	佐田中学校3年生	9月21日～22日	1
	福祉交流活動	佐田中学校1年生	11月14日	1
	ふれあいだんだん祭り	法人やまゆり利用者、地域住民	中止	
	福祉交流活動	出雲三中3年生		1

稗原デイサービスセンターやまゆり

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	通所合同敬老会		中止	
	ふれあいだんだん祭り	法人やまゆり利用者、地域住民	中止	
	認知症研修会	稗原地区社協	12月4日	1

居宅

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	福祉交流活動	出雲三中3年生	9月8日	1
	福祉交流活動	佐田中学校1年生	11月13日	2
	認知症研修会	稗原地区社協	12月4日	1

居住

	活動内容	個人・団体名	実施日	人数
	習字	ボランティア	中止	
	喫茶（ほのぼの喫茶）	ボランティア	中止	
	交流会	民生児童委員	中止	
	通所合同敬老会		中止	
	交流会	民生児童委員	中止	

実習受け入れ状況

実習学校・個人名、日程、人数	実習先
トリニティカレッジ出雲福祉医療専門学校 2名 6/14-15	訪問
トリニティカレッジ出雲福祉医療専門学校 2名 6/16-17	通所やまゆり